

迎春

本年も社会福祉事業の発展に

一層の努力をいたす所存で

ありますので

ご支援とご協力を賜りますよう

お願い申しあげます

社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

会長 森川幸江

役員一同



社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

会長 森川幸江

令和六年の年頭にあたりまして、謹んでご挨拶申し上げます。平素、会員の皆様におかれましては、本会事業に格別の御支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染法上の分類が五類に引き下げられたことにより私たちの暮らしはコロナ禍以前の日常を取り戻しつつあります。しかし、その一方でコロナ禍を経て人々のつながりが希薄になり、社会的な孤立・孤独が進み、子ども達を取り巻く環境にも大きな変化がありました。

こうしたなか、本会では、新型コロナウイルスに加え物価高騰の影響で困窮する方々に対して、生活状況を把握し必要な支援に結び付けるアウトリーチ支援による、孤立・孤独の深刻化を防ぐ取り組みをしております。また、子どもや子育て家庭が社会的孤立に陥らないよう支援するため「岐阜県子どもの居場所応援センター」を設置し、子どもや居場所を応援する団体や企業の総合的なサポートを行っております。

本会といたしましては、引き続き「つながり続ける地域共生社会の実現」を目指し、関係機関・団体等と連携し、地域の実情に応じた支援に取り組んでいく所存であります。皆様の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様方にとってよい年であり、地域福祉が進展することを祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新しい年を地域とともに

岐阜県民生委員児童委員協議会

会長 澤井基光



あけましておめでとうございます。令和六年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

近年、少子高齢化が進み、平成二十年を境に人口減少社会となり、家族の在り方も様変わりし、さらに新型コロナウイルス感染症の影響もあり、人と人の関わりは、より希薄になったように思います。

岐阜県の民生委員制度は、大正十一年八月「岐阜県奉仕委員制度」として創設されました。多くの先達の方々の熱い想いと、強い使命感を持ち進めてこられた民生委員・児童委員の活動には、百年の歴史があり、今の私たちに繋がっています。

この想いを次に繋げるために、私たち民生委員・児童委員は、日々自己研鑽を忘れず、インクルーシブな地域共生社会「誰もがお互いを認め合い、それぞれが自分の役割をもち心豊かで安心して暮らすことができる社会」を目指して、地域の重鎮として、誰かのために動いていきたい

思うところです。岐阜県民生委員児童委員協議会では、これからも、地域に根ざし住民の方々にとって身近な民生委員・児童委員、主任児童委員として活動していただけますよう支援してまいりますと考えております。

本年も、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

年頭のご挨拶

岐阜県社会福祉法人経営者協議会

会長 井上悟



新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られました。しかしながら、社会福祉法人を取り巻く環境につきましては、物価高騰の長期化や人材不足等の影響により、厳しい経営状況が続いております。

本年は、介護・障害福祉サービス等の報酬改定が予定されており、コロナ禍等の影響により財政制約が厳しくなるなかで、物価高騰を乗り越え、職員のさらなる賃金改善等を

図るうえで非常に重要な改定となります。引き続き、全国経営協と共に報酬引き上げに向け、取り組んでまいります。

また、社会福祉法人が向き合う課題につきましては、地域住民をはじめ社会全体で共有する必要があると考えます。社会福祉法人の存在意義をアピールするとともに、社会福祉法人の使命と責務の重さを再認識し、今後も努力を重ねてまいります。

年頭のご挨拶

一般社団法人岐阜県老人福祉施設協議会

会長 若山宏



新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

三年以上に及ぶ新型コロナウイルス感染症への対応は、昨年五月八日に感染症法上の位置付けが「5類」へ変更されたことで、一つの節目を迎えました。

しかし、会員施設においては、集団発生の防止を図る上で、平時からの感染症予防対策の徹底の継続は必須であり、加えてエネルギー価格の高騰や物価上昇によって経営環境は極めて厳しく、令和四年度決算では、赤字施設の割合は六割を超えることが全国老協協の調査で明らかになり

ました。そうした中、令和六年度介護報酬改定において物価・賃金の上昇に見合う大幅な介護報酬の増額の実現を目指して、全国老協協等と協調し、現場の危機的状況と増額改定の必要性について理解を求めると同時に、取り組んでまいりました。

また、「人材確保と育成・定着」「災害等危機管理事業での連携」など、従来からの課題にも時流に即した対応に引き続き努めてまいります。会員の皆様のお力を借りながら、本県の老人福祉施策の一端を担う「行動の老協協」を目指し、役員一同取り組んで参りますので、皆様方の一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

年頭にあたって

岐阜県保育研究協議会

会長 可児亨



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は、「こども家庭庁」発足、「こども基本法」施行など、「こどもまんなか社会」実現に向けた取り組みが進められ、保育士等の役割がこれまでも増して重要になってきています。

一方で、全国の保育施設における「不適切保育」と呼ばれる報道が相次ぎ、世間の耳目を集めています。

本会では昨年、施設長を対象とした「不適切保育緊急セミナー」を複数回実施し、子ども主体、子どもの権利擁護という保育の基本を再確認したうえで、日々の保育の振り返りを行いました。

虐待の背景には、保育士自身の認識の問題だけではなく、保育士不足等の職場環境の課題も関係していると言われています。

当協議会としましては、子どもの最善の利益を守るために最大限の努力を重ね、より一層地域社会に信頼される保育所を目指すとともに、保育人材の確保や保育の質の向上に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

今後におきましても、地域住民をはじめ、関係機関及び行政機関との連携を強化して、保育所・認定こども園の機能及び保育士・保育教諭の資質の向上に努めてまいりますので、本年も、皆様方のご協力、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

子どもを真ん中に

岐阜県児童福祉協議会

会長 横川 聖



あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

令和六年四月の改正児童福祉法施行に向け、地域で生活する子育て世

帯への支援強化、社会的養護出身者への自立支援の拡充等に向けた具体的な施策の検討とともに、令和七年度から始まる岐阜県社会的養育推進計画に向けた検討が進められます。

家庭で生活できない子ども達の背景は、ますます多様化し、ケアニーズの高い子どもが増えていることに加え、想像を超えた過酷な生活環境で暮らしてきた子どもの痛みや悲しみ等の回復には、支援者の大きなエネルギーが必要であり、日々、子どもと向き合ってきた専門性に基づく質の高い「養育」の実践が必要です。

こども家庭庁の「子どもを真ん中に」のスローガンのもとに、全ての子ども達の命と人権が守られ、育まれる社会の実現に向け取り組みます。皆様のご理解とご協力を賜り、本年もよろしく申し上げます。

年頭にあたり

岐阜県知的障害者支援協会

会長 平下 博文



新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症流行が未だ終息とは言えない中、その位置づけが2類から5類感染症へと変更され、それに基づいた対策へと転換が示されて、社会はコロナ後に向けて動いているかを見えます。一方で、

四年余にわたるコロナ禍とそれに加えた世界情勢の変化、それらと関係し進行している生活関連物価等の高騰は、日本社会の将来への不安感を増している感があります。潜在化していた社会の格差、貧困、孤独・引きこもりなどが社会問題となつて表面化し、「多様性社会」と言われるその「多様性」は、私達の社会観にも影響を与え、その中で知的障害者のおかれている状態や、障害者施設や事業所での支援のあり方など、これからの障害者福祉のあり様を真剣に考えていくことが求められています。

そうした中、今「福祉の原点に戻る」とは、まさに作られ与えられたものに依つて立つ「福祉・支援」ではなくて、長年私達が培ってきた「施設福祉支援の良さ」を再確認して、それを生かした「福祉施設」を、私達自身が創造していくことではないでしょうか。本年も皆様の一層のご理解ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

年頭に当たり

岐阜県身体障害者福祉施設協議会

会長 豊田 雅孝



新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり謹んでご挨拶申し上げます。

社会は二〇二〇年のコロナ禍以前の活動に戻りつつあるものの、この約三年間に経験した大規模なクラス

ターの記憶から恐る恐る施設運営を行っているのが現状です。加えて電気代を始めとしたランニングコストの急騰は運営に大きな痛手となっており、来春迎える国による報酬改定においては安定した施設運営が図られるよう皆様のいっそうの温かいご支援をいただきたく存じます。

そのような中であっても我々は引き続き皆様に安心して施設をご利用いただけることはもちろん、体験利用、福祉学生の実習受け入れなど施設機能を十分に発揮して参ります。施設では利用者様の高齢化・重度化、障がいが多様化、親亡き後など様々な課題が山積しておりますが、これに対応する専門性の高い人材の育成と併せ、これまで同様ひとつひとつ丁寧に対応することに鋭意努力いたしますことを会員施設一同お誓い申し上げます。どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。

